

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上上野町校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	②	職員の配置数は適切である	4		・職員配置を多くしている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		4	・内鍵がかけられた場合でもすぐに開けられような器具を持つ。	・部屋の中にカギが付いており内側から掛けられるようになっているため子どもたちが自由に施錠できる状態になっている。そのため、閉じこもりが起り危険を感じる時がある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		・日々の清掃や消毒、換気等を丁寧に実施している。	・それぞれの児童やプログラムに合わせたスペースを工夫している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1		・毎日の打合せ、定例の会議や臨時会等で業務改善を進めている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			・事業所内評価の会議をこれまで2回開いている。また、日々職員間で話し合い業務改善につなげている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		4		・4月に開所したので、来年の2月にはホームページや校舎内で公表します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		・保護者様や関係機関との話し合いを設け、業務改善につなげる。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		・定期的な内部研修の参加および積極的な外部研修への参加を促している。	・支援と両立しながら研修の時間を確保するとともに、それぞれの職員に応じた研修を受講できるようにする。
支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			・アセスメントをもとにした会議を実施し、会議内容を参考に児童発達支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	・「クラ・ゼミ」で共有している汗セメントシートの活用。	・児童発達検査や知能検査を等のアセスメントツールを使用しえおりその見方も職員が理解できている。

	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1	・利用児や保護者様およびその家族以外に園や学校、関係機関と連携し諍的な支援内容を決定している。	・ガイドラインの定期的な読み直しを全職員が実施する。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		・毎時の支援計画を立てる前に個別支援計画が読めるようにしている。	・支援前には定期的に読み直しを全職員が実施している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		・紙での共有の他に職員同士の話し合いを活発に行う。	・定期的な会議のほかに、普段の情報共有をもとに立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		・紙面とガルーンと口頭で情報共有を図っている。	・指導員間で利用児の情報共有をこれまで以上に、本人に沿ったプログラムを提案する。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		・定期的なイベントを継続的に実施する。	・指導員間で利用児の情報共有をこれまで以上に、本人に沿ったプログラムを提案する。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2	・紙面とガルーンと口頭で情報共有を図っている。	・これまで以上に情報交換を活発にする。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	・児発管は支援記録を毎日確認するようにしている。	・できるだけその日に打合せを実施するが、時間的に無理であれば次日には実施する。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		・ガルーン情報共有や支援前には支援記録を必ず見る。	・これまでどおり、職員相互で支援記録をチェックし支援の改善につなげる。
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		・定期的にもモニタリングの案内を保護者にしている。	・定期的にもモニタリングを実施しており、その内容から見直しを図っている。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	・児発管と児童指導員が2名で参加するようにしている。	・職員全員がサービス担当者会議に参加できるよう子どもの状況や発達段階を精通できるようにする。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	・定期的に関係者と話し関係性を構築するように努めている。	・これまで以上に子ども・子育て関係者と連携できるような体制を構築する。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2		・医療機関に関わる利用児が利用していないので、対応していません。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	3		・医療機関に関わる利用児が利用していないので、対応していません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	・児童の担当について支援計画報告書の記録や持参する職員を決めている。	・支援報告書の活用や園訪問の定期的な実施を展開する。 ・園職員にクラゼミの支援の様子を実際に見て頂く。また、タ

						タブレットを使用した支援や教材の紹介をする。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	・定期的に関係者と話し関係性を構築するように努めている。	・支援報告書の活用や園訪問の定期的な実施を展開する。 ・園職員にクラゼミの支援の様子を実際に見て頂く。また、タブレットを使用した支援や教材の紹介をする。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		・定期的に訪問している。	・これで以上に連携や助言、研修を受ける機会を確保する。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	・園訪問を定期的に実施する。	・イベントは受給者証の有無に関わらずどなたでも参加できます。
	㉗	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	・積極的に取り組める環境を整えている。	・協議会に積極的に参加できる時間を取り、活動内容の充実を展開する。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・定期的に保護者と話す機会を増やす努力する。	・フィードバックや事業所内相談を充実させるためにも、発達状況を知るスキルを身に付ける。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	2	・保護者対象イベントに実施するようイベント開催を工夫をする。	・ペアレントトレーニングは行っておりませんが事業所内相談でお子様の対応の仕方についてご質問があったときは知識と経験から考えられる対応の仕方をお伝えするようにしている。 ・保護者向けイベントを企画し保護者様同士の交流、情報交換の場を設定しました。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		・運営規定は頭の中に叩き込んでおく。	・契約時および規定変更時に丁寧な説明を行っている。
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		・いつでもガイドラインを閲覧で出来るように配置する。	・職員のガイドラインの定期的な読み直しを図り、支援の充実につなげる。
	㉜	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		・必要な助言と支援が実施できるような研修の確保に努めている。	・必要な助言ができるようなスキルを身に付ける。
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	・保護者対象のイベントの実施。	・集団での定期的なペアレントトレーニングの実施をする。
	㉞	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		・普段から丁寧な保護者対応を図るように徹底する。	・事前に相談内容を把握するとともに保護者が相談しやすい職員を選択できるような体制を継続する。相談内容とその対応について共通理解の徹底化を図る。
	㉟	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		・教室新聞の月1回の発行。	・今後も継続予定

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4		・教室内の整理整頓	・職員相互による机上の確認や共通理解を継続する。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		・意思疎通の方法を増やしている。	・集团事業所内相談の実施や普段からやり取りを十分に時間を掛けて実施している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		・子どもがいない近所のご家庭にもイベントチラシを手渡して事業所の支援等について話している。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		・北上上野町校独自のマニュアルを作成している。	・マニュアルには定期的に目を通す。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		・児童にあった訓練を展開している。	・定期的に防災トレーニングの実施。室内での避難訓練、夏季期間の屋外での避難訓練の実施をする。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		・定期的な情報共有を図る。	・基本情報シートの回覧と紙面およびガルーンでの情報共有。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		・現在、利用者の中で食物アレルギーのある方はおりません。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	・過去のヒヤリハットの読み直し。	・ヒヤリハットが発生した時はすぐにその対応会議を開く。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		・過去の虐待事例の読み直し。	・研修は1回のみでなく必要であれば数度実施する。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	・教室内職員間で情報共有を徹底する。	・契約時に丁寧に説明している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上上野町校

保護者等数（児童数）：10（10） 回収数：9

割合：90%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1			・とても広いスペースで活動が出来ることを本人もとても喜んでいる。 ・子どもが伸び伸びと活動していると思います。	・利用児の特性に応じた活動スペースを確保し、十分な支援が受けられるようこれまで以上に注意する。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1			・適切だと思います。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1				・特性に応じた教室内の環境をこれまで以上に整備する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9				・とてもきれいで清潔だと思います。	・それぞれの利用者に合ったスペースの活用をする。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	1			・作成されています。	・これまで以上にモニタリングや事業所内相談を活用し保護者のニーズを十分に聞き取り、個別支援計画の充実を図る。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1				・職員のガイドラインの定期的な読み直しを図り、支援の充実につなげる。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	1			・毎日違った内容でとても工夫されていると思います。	・指導員間で利用児の情報共有をこれまで以上に図り、本人に沿ったプログラムを提案する。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		1	5	・園で障がいがない子と活動しているので大丈夫です。 ・保育園で（普段の生活の中で）障害のない子と関わりがあるので、ここでは無くても良いと思います。	・支援報告書の活用や園訪問の定期的な実施を展開する。 ・園職員にクラゼミの支援の様子を実際に見て頂く。また、タブレットを使用した支援や教材の紹介をする。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1			・丁寧に説明を受けました。	・これまで以上に分かりやすい説明を心掛ける。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	1	4		・親の時間が取れていないためにできてないところが大きいと思います。 ・事業所内相談でお話を聞いてもらっています。その際に悩み事を相談しています。 ・事業所内相談でいろいろアドバイス頂いているので助かっています。話や相談に答えて頂いてありがたいです。	・対面以外（遠隔）でのペアレントトレーニングの実施。 ・保護者が、ペアレントトレーニングが行いやすいような教室間の整備および職員のスキルアップを図る。 ・対面以外（遠隔や電話）でのペアレントトレーニングの実施。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7		1	1	・子どもが今、何が好きなのか、ハマっているのかを理解して、それに沿ったプログラムを組んでいただいております。	・フィードバックをこれまで以上に充実させる。そのためのスキルを身に付ける。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1			・事業所内相談でいろいろアドバイス頂いているので助かっています。話や相談に答えて頂いてありがたいです。	・事業所内相談の定期的な案内の継続および助言のスキルの向上を図る。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1		5		・集団での定期的なペアレントトレーニングの実施をする。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1				・事前に相談内容を把握するとともに保護者が相談しやすい職員を選択できるような体制を継続する。相談内容とその対応について共通理解の徹底化を図る。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1				・SNSの定期的な発信を継続するとともに内容の充実を図る。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	1				・SNSと紙媒体を使用した情報の発信を継続し内容の充実を図る。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8	1				・職員相互による机上の確認や共通理解を継続する。

非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	1		1		・モニタリングやフィードバックを活用し、これまで以上に保護者に周知を図る。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1		3		・教室内での防災訓練および、支援プログラムの中に防災トレーニングの定期的な実施。 ・夏季期間の屋外での避難訓練の実施。
満足度	㉖	子どもは通所を楽しみにしているか	9				・とても楽しみにしております。ありがとうございます。	・これまで以上に支援の充実を図る。
	㉗	事業所の支援に満足しているか	8	1				・これまで以上に支援の充実と丁寧なフィードバックを図る。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したもの

